

櫻雛のつくり方

及川ふみ

材 料

水色、桃色、赤、白、青、緑、黒、黄のいよ
まさ紙、(色がよく紙も厚いので特にこの紙を
用ひます)、畫用紙。

つくり方

親王様

水色のいよまさを直經九センチの圓形にきりぬ
く、これを二つに折つて上方は三ミリ位の隙を
あけて底の重りを二センチ半位になる様に前を
合せて糊ではり合せる。

黒い紙を一ミリ半位の巾に細長く切つて水色の
胴の下から一センチ位のところに帯にして糊で
はりつける。

笏は黄色で巾上部で五ミリ下部で三ミリに長さ
は一センチ半に切つて帯の上部へはりつける。

頭

畫用紙で上部二センチ位のところは巾二ミリ半
下部は八ミリの巾に長さは一〇センチにして、
さきに作つた親王様の胴へ通して上部を一セン
チ出してその出した部分へ表裏兩面へ白の櫻形
の打抜をはり合せる。

冠は黒い紙で切り頭の上へ貼る。

内 裏 様

桃色の紙を親王様と同じく直經九センチの圓形
にきりぬき二つに折つてつくる。
帯は赤でつける。

繪扇は黄色の紙を適當の形に切つて帯の上方へはる。

三官女

赤い紙を直經七センチの圓形に切つて作り方は内裏様に同じ。

帯は桃色とする。

黄色でお銚子も三方など適當に切つてはる。

頭は内裏様と同じくつくる。

五人囃

黄色、三官女と同形につくる。

帯の色は青とする。

頭は内裏様と同じ。

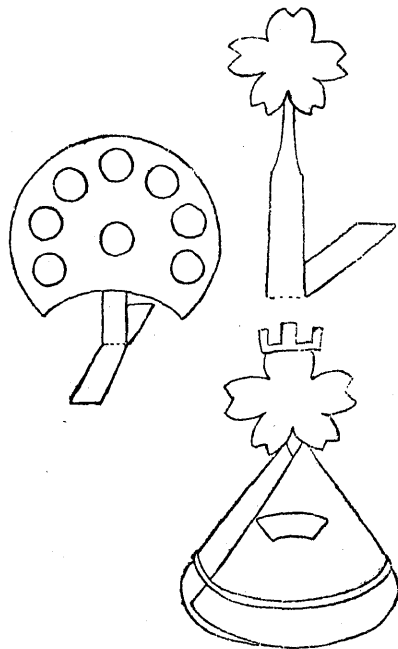
綠色で太鼓笛などの形を簡單に切つてはりつける。

櫻

桃色の紙を直經五センチに圓形に切つて下部の方を少しかき、畫用紙で裏うちして巾八ミリ長

さ四センチの長さのもの二枚を上部二センチだけはり合せて下部は畫用紙を前後に開きて立てる。

桃色の地へ同じ色の少し濃いので小さき丸をう



ちぬきたるを八つはる。

橘

綠色の紙を櫻と同様に作つて黄色の小さい丸をつける。